

西公民館だより

2018年11月10日
発行 西公民館
福山市西町1丁目19-2
Tel 925-0442
✉nishi-kouminkan
@city.fukuyama.hiroshima.jp

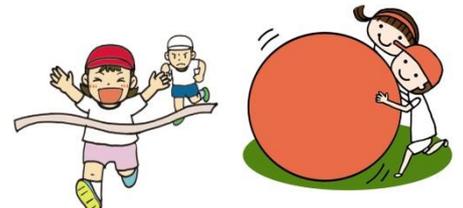
◆子どもの生命が青空におおきく輝いて…◆ 「運動会」大爆発！

◆西学区ふれあい大運動会は台風の接近で中止に、学校・幼稚園・保育所はみんな元気に走りました◆

城北中学校 5月12日(土)城北中学校では朝から晴天に恵まれ、体育大会が開催されました。今年は去年を超える事を目標に、生徒の主体性を大切にした取り組みを行い、短期間の練習にも関わらず、素晴らしい演技でした。
(「城北中学校だより」を掲載)



紅葉保育所 10月6日(土)紅葉保育所は台風の影響から、西小学校体育館で行われました。運動会のテーマは「笑顔いっぱい力を合わせて」です。友達と一緒に、かけっこ・リズム・サーキットなどに自分の力をしっかり出し切って、笑顔いっぱいの子供達。頑張る姿に拍手と声援を惜しみなく送りました。



西小学校 10月9日(火)快晴、運動会が2度も中止となり小学校単独開催となりました。「西小の絆、無限大！」をテーマに掲げ、練習を積み重ねて来られました。1・2年の表現「スマイル・西小」、3・4年の団体「西小ぐるぐるぐる」、団体「2018～西の陣～」どの学年も張り切っていました。青春は躍動でした。



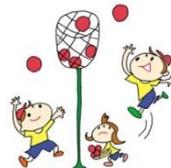
西幼稚園 10月13日(土)快晴、さわやかな秋空の下で待ちに待った運動会。今年のテーマは「チャレンジ」です。初めてのことで、何度も繰り返し続けることで、お互いに刺激し合ったり、支え合ったりしながら、困難を乗り越える力を身に付けて行きます。その表現をこの運動会で見せてもらいました。子どもは命です。



西保育所 10月13日(土)強い陽ざしの中で、元気いっぱい！笑顔いっぱい！つながれ仲間！の運動会が始まりました。狭い園庭に可愛い園児達がいっぱいです。運動遊び・リズム遊びを楽しみ、友達と力を合わせ、目標に向けてチャレンジしました。どの子もたくましくなった姿を見せてくれました。皆感動しました。



西体育会 9月14日(金)7:30～8:00、西小学校と西学区体育会全体役員会が総勢170名の役員で開かれました。この日は各担当班別に当日の打合せをして流れ解散しました。こうした並々ならぬ準備に関わらず、「ふれあい大運動会」は台風の為中止になりました。残念至極でした。



『お口の健康について』

～健康寿命とお口の健康を学びました～

◆9月28日(金)西公民館で、健康部会の担当によるさわやかサロンが開かれて、7名の参加でした。講師に柏原歯科衛生士と桧崎保健士が健康診断と口腔機能の大切さを講義してもらいました。いつまでも健康でいきいきと過ごすために、お口の健康と健康診断の大切さを聞きました。歯磨きの仕方、歯周病菌の予防、発声練習や舌の運動など。お口が健康でないと、食べれなくなり認知症や誤嚥性肺炎を発症しやすくなりますと学びました。



『西小3年生、昔の遊び体験』

～ゲストティーチャーが子ども達と遊ぶ～

◆10月4日(木)西小学校体育館で3年生の「昔の遊び体験」の総合学習の授業がありました。地域のボランティア16名がゲストティーチャーで参加しました。8種の遊びに9人ずつに分かれ20分ずつ3種異なる遊びに挑戦しました。遊んだ経験のない子ども達ですが、終りは上手になってワイワイガヤガヤと賑やかに遊びました。外遊びもなくなり集団で遊ばないのを改善しようと、国を挙げての取り組みに少しばかりお手伝いしました。



昔の遊び

めんこ

まちづくりシアター『聲の形』

～花は種で運ばれ、心は言葉で運ばれる～

◆10月20日(土)西小学校で、人権啓発を担う総務部会の担当で『聲の形』の映画を観ました。映画は大今良時のコミックが原作。いじめっ子の小6の石田将也は周りから恐れられていた。ろうあ者の西宮硝子をいじめたことから逆に周りから、いじめられ無視される立場になる。高校生になり手話を習い西宮に会って、いじめた事を手話で謝る。西宮を介し皆は互いの偏見や憶測で人を評価した事が反省され、分かり合えるまでに変わる。西宮は自殺を図り石田に助けられるが、石田は大怪我をする。互いを受け入れた時、新たな『友達』として立ち直っていく感動の映画でした。



『神島老人会の百歳体操』

～4周年 200回記念式典～

◆百歳体操を西学区で最初に始めたのが、神島老人会です。10月16日(火)10時、神島公民館で開かれて、200回記念を迎えました。地域の人20名、来賓5名で早速血圧測定をして指動かしの準備体操から本番の百歳体操の始まりです。テープの声に従い、1.2.3.と掛け声をかけて高齢者に最適な運動を30分して、ハーモニカの伴奏で歌をうたって200回を盛大にお祝いしました。



『佐波の神楽を見学』

～伝統を守り伝える若衆の心意気～

◆10月19日(金)の晩に佐波公民館へ、佐波の秋祭り神に奉納する神楽の稽古を見学に行きました。先輩が若い2人に見栄の切り方や所作のコツを教えていました。伝統の「伊勢神楽」を佐波の男衆が地道に継承しています。数多い演目を後輩に伝えることが、地域の絆を強める大きな力になっています。前夜祭でお披露目・奉納をされます。



【白鬼の稽古を先輩が指導】



【赤鬼の稽古中】

『西老連グラウンドゴルフ大会』

～老人パワーが燃え上る絶好の日～

◆10月17日(水)芦田川の河川敷で、ふれあいグラウンドゴルフ大会が35名の参加で大いに老人パワーを燃焼させました。成績は次の通り、おめでとうございます。

女優勝	片岡富貴子	神島長寿会	67打
準優勝	住田康子	本庄中二町日本寿会	69打
第3位	河相澄江	佐波白寿会	69打
男優勝	曾根清登	池之淵寿会	58打
準優勝	井上 誠	西桜町銀齡クラブ	61打
第3位	岸守良雄	南本庄自治会	61打



民俗探訪ルポ

◆祭りだ！ワッショイ！ワッショイ！◆

本庄中町内会

祭りは10月14日9時から子どもと大人神輿がお昼まで町内を巡行した。本庄町中二丁目は50年前に田圃を造成宅地化した地域で、本庄八幡神社を地域神として毎年秋祭りを行なう。午前中町内を鬼2匹が先導して、子ども神輿が練り歩き、後を大人神輿が続く。家の前で神輿を上下させて「ワッショイ！ワッショイ！」と神様の喜びを振りまく。夕方よりアトラクションが行われて、多くの町民が集いて演芸・夜店・カラオケ等の宴を夜遅くまで楽しんでいた。



長者町町内会

祭りは10月21日に行われた。前日に準備、町内に注連縄を張り巡らし神聖な場所とする。福山に城下町が出来た400年前から続いている町で、地域神を「荒神」つまり、荒ぶる神・かまどの神・防火の神として「荒神社」を町の真ん中に安置してある。大人神輿は本庄八幡より譲り受けるも、担ぎ手がいなくて、子ども神輿で、10時より町内の各戸を巡行する。家の前で「ワッショイ！ワッショイ！」と神輿を高く上げる神事があり、その下を潜り神の恵みを得るといふ。町内の人は長者町が空襲に遇わなかったのは荒神社のお陰と信じられている。



池之淵町内会

祭りは前夜、子ども神輿を本庄八幡で入魂。10月14日の8時30分に本庄南公園で神輿の出発式を行い、露払い・2匹の鬼・鉦つき・太鼓・子ども神輿・賽銭箱と総勢110人が子ども神輿を引いて巡行。御旅所や荒神社で拝礼・休憩しつつ、町内全域を回った。その後直会をして町内上げて親睦を深め合った。



南本庄親和会

10月14日町内の子どもや大人たち50名が神輿の巡行を行った。白鬼赤鬼が先導して揃いの法被をきた子ども達は町内中を綱を引いて練り歩いた。地域の公園ではお母さんたちが炊き出しをしてみんなをねぎらっていた。



南本庄自治会

10月14日の南本庄秋祭りは、以前は注連縄を張るだけの祭りだった。本庄八幡の神輿は重すぎて担ぎ手がない理由で本庄全部の巡行は無くなり、各町内ごとに趣向を凝らした祭りになった。この自治会では5年前から氏子を募り、50世帯で樽神輿を子ども達に引かせて町内巡行している。お旅所ではお神酒や御馳走をいただいて皆が幸せ感を得る新しい自治会活動を目指しておられた。



神島町内会

10月21日の祭りの神事で、宮司が八幡神を人に見えぬように袂に隠して、本殿から神輿へ移される所を見た。神が乗られた神輿は町内を巡行して、家の前でワッショイ！ワッショイ！と神輿を高く上げ「幸多かれ」と神の恵みを頂いた。ここ神島町の歴史は古く神功皇后がお泊りされた所と言われている。すこぶる上代から連続と続く祭りごとに驚くばかりだった。



佐波町内会

『沼隈郡誌』には「佐波村『村社巖島神社(祭神・市杵島姫神)、其他・良神社(岩井神)、猿田彦神社(城山)、竈神社(城地蔵・岩井神・土居下)あり』とある。10月20日巖島神社で前夜祭があり、神楽の奉納が行われた。21日10時に神事、12時に佐波公園で奉納「はね踊り」で出発式をして町内を隈なく巡行した。先導を14名の子どもはね踊りが勤め、赤白2匹の鬼、8名の若衆が神輿を担ぎ、年老が「神輿の担ぎ歌」を歌いつつ進んだ。途中お旅所(当家)などでは休憩・はね踊り・大和踊りを見せて、お神酒・軽食を当家の人たちが振舞って歓談した。その後、塞の神にも宮司と宮総代5名が参った。

良神社では二体の神輿を並べ御神体のお移り神事があり、夕刻の6時に巖島神社に神輿がお帰りになった。社の周りを子どもがはね踊りで三度回り、納めの神事があり、「湯釜」の熱湯でお祓いしてもらい、祭りは終わった。



【勇壮な跳ね踊り】

【担ぎ歌で神輿の巡幸】

コロコロパーク～さつまいもの収穫～



10月28日(日)18組50名の親子が参加し、6月2日にさつまいも土づくりをはじめやっと収穫になりました。西迫さんから芋ほりのやり方を聞いて、つるの元を切って周りの土を優しく掘っていくと大きなイモが現れました。みんな歓声を上げながら親や兄弟と一緒に沢山のイモを掘りました。畑のある公民館で自然を大いに満喫できました。



書籍で寄贈の披露

西町 松井千景様より

1, 図書 日本の仏教 奈良仏教』1冊

〃 密教』1冊

*新潮社

2, 阿含経典』第1巻〜第4巻 4冊

*増谷文雄著 筑摩書房

3, 新釈漢文大系 論語』1冊

〃 孟子』1冊

〃 荀子』上 1冊

〃 荀子』下 1冊

*明治書院

4, 日本古典文学大系 今昔物語』第345巻 3冊

*岩波書店

5, 教行信証講義』第123巻 3冊

*山辺習学 赤沼智善著

法蔵館

この度は、知的財産であり、高価な書籍を、数多く社会教育と基本的人権を教育すべき、西公民館にご寄贈下さり、厚く御礼を申し上げます。

【編集後記】

■記事を書きつつ私の高校生の頃がよみがえってきた。倫理社会で「ヒューマニズム」「人間性の回復」の授業があったが理解できなかった。1年生の秋、大怪我で入院した時に担任の先生が見舞いに来られ「君は死を考えたか?」と聞かれ答えられなかった。それが縁で死とは何か、生きるとは何かを考えるようになった。しかし、うろたえ迷うだけで答えは出なかった。大学に行ってその答えに出合った時は、歓喜した。「縁起・無自性・空」「自然法爾・絶対他力」の言葉の奥にある「真実」に出遭い、今までの自分が死んで新しい自分に生まれ変わった瞬間だった。それを一言で言えば(生かされている今を精一杯生きろ!)と、言えるだろうか。

■今月号の「運動会」と「祭り」の記事は、私に今をどう生きるかを如実に教えてくれた。「精一杯生きる事」と「大きな自然の命のただ中に今生かされている事」の素晴らしさを、そこから感じずにはいられなかったのであります。
(西公民館長)